

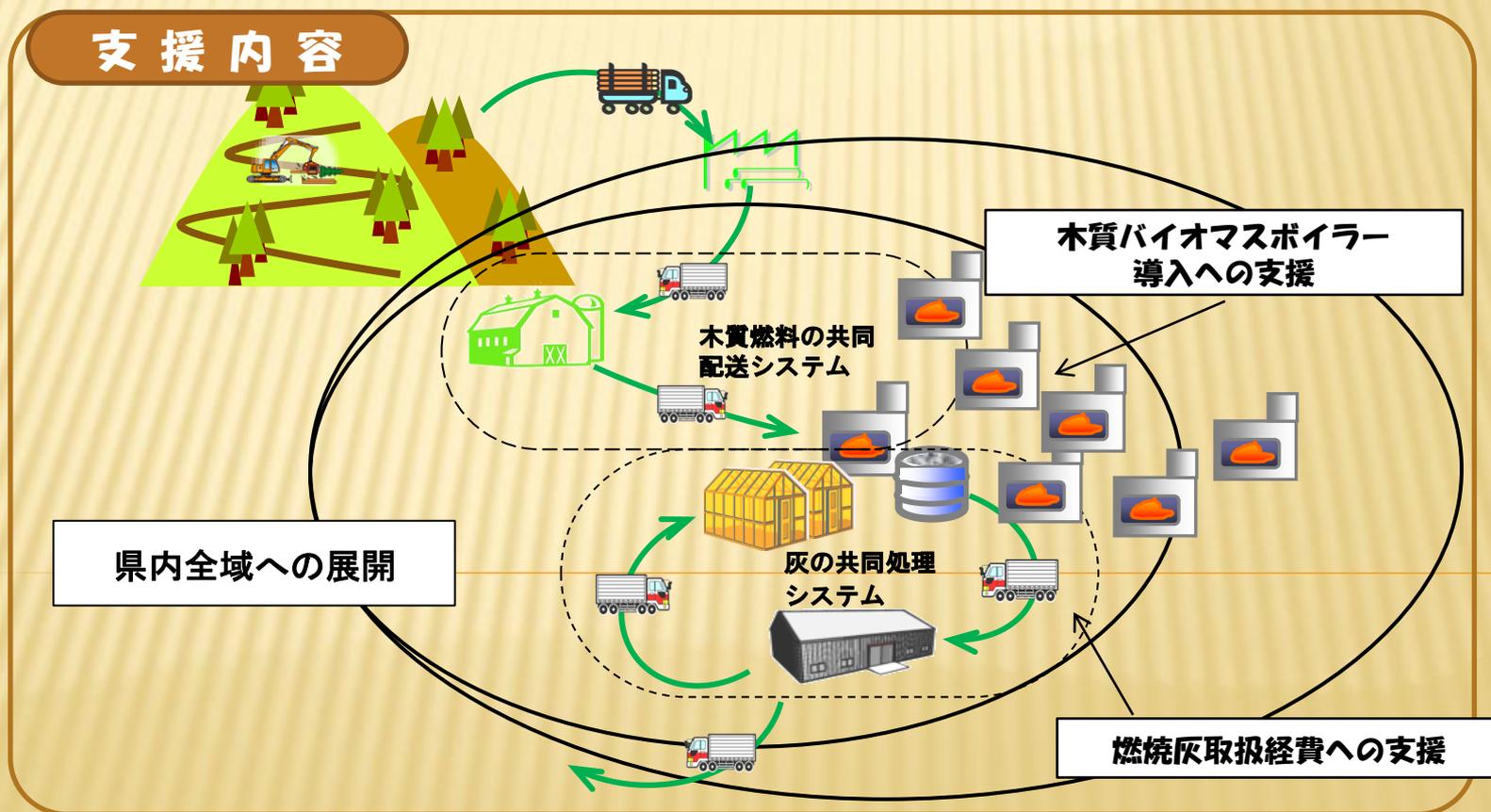
# 木質バイオマス熱利用の取組

## ◆ 木質バイオマスボイラーへの支援事業

高知県木質資源利用促進事業（H26予算見積額 363,846千円） 木材利用推進課

### 事業内容

森林資源を活かした循環型社会の形成並びに新たな産業や雇用の創出に向け、木質バイオマスエネルギーの地域循環利用の取り組みを進めるために、木質バイオマス利用機器の導入、燃料の備蓄や燃焼灰収集等への支援を行う。



# 木質バイオマス施設整備事業 (予算額3,480,309千円) 木材利用推進課

## 現状

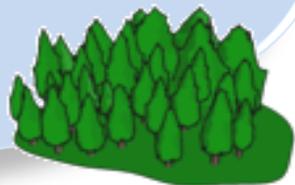
- 県内人工林の年間成長量約300万m<sup>3</sup>
- 平成25年度の県内素材生産量約50万m<sup>3</sup>
- 大型製材工場の稼働にあわせて、県内素材生産量を72万m<sup>3</sup>まで増産することを目標に設定

## 課題

- 小径木や曲がり材など低質材の活用先の確保
- 発電施設の整備には多額の初期投資が必要
- 間伐材等未利用材100%の専焼は事例が無く、安定的な稼働までにはリスクがある

## 基本的な考え方

- ◆ 大型製材工場の稼働とあわせて木質バイオマス発電を事業化することで木材の付加価値を高め、森林資源を余すことなく活用し、林業における雇用の場の確保や木材価格の安定化に繋げる



## 事業内容 (2施設分)

- 送電規模：11,450kw
- 木質チップ年間使用量：約177,000t
- 直接雇用：約43人
- 稼働予定：平成27年度

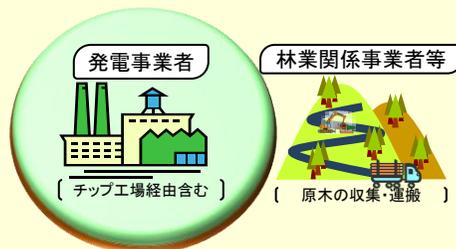
## 県内への波及効果

(1施設での試算)

### ● 林業に対する効果

- ・ これまで利用されなかった小径木や曲がり材など低質材の活用先の拡大
- ・ 電力の固定価格買い取り制度を活用する事により、経済動向による木材価格への影響が少なく、木材価格の底支えに繋がる

### ● 経済波及・雇用誘発の効果



森林整備や運送及び給与所得による物の購入等の間接効果



20年間の継続

全体の経済波及効果 (年間)  
**約1,249百万円**

全体の雇用誘発効果 (年間)  
**約142人**

木質バイオマス施設の整備事業の概要(木質バイオマス発電(H26,4月時点))

事業体名	土佐グリーンパワー(株)(高知市)	(株)グリーンエネルギー研究所(宿毛市)
会社の設立	平成25年1月23日	平成24年7月30日
施設内容	年間送電量 約4,068万kwh 送電規模 5,650kw	年間送電量 約4,400万kwh 送電規模 5,800kw 木質ペレット年間生産量 約5,000トン
事業費	3,531,000千円	4,091,000千円 (発電施設 3,109,000千円 木質ペレット施設 982,000千円)
補助金	1,626,000千円	1,849,119千円
木質チップの年間使用量	約74,000トン	発電用 約93,000トン 木質ペレット用 約10,000トン
直接雇用	20人	23人 (ペレット製造施設含む)